

志乃武神社由緒

志乃武神社は、旧日本海軍により、天照皇大神宮・鹿嶋大神宮・香取大神宮から御霊分け、昭和十八年十一月十八日、旧三沢海軍航空隊基地に勧請される。

爾来、国家鎮護・地域鎮護・航空安全・海上安全・無病息災・開運等の守護神として祭祀され、終戦により、昭和二十年九月、護弘第二二八五八部隊伊東祐満部隊長により、木崎野の守護神である氣比神社に納められる。

此の間、半世紀余に亘り氣比神社社殿内で祭祀されるが、靈威限りなく高い志乃武神社を永久に祠祀するため社殿を建設し、航空自衛隊三沢基地の航空安全、木崎野地域の幸福と限りない発展・繁栄を願う守護神として祭祀奉る。